



仏教の風
400年

法藏館

中古文学会 2020.5 特価販売カタログ

お申し込み締切り 2020年7月末日

対象書籍 経典・雑誌を除いた法藏館刊行の書籍全点

販売価格 **定価の20%割引** (公費払い可)

ご注文方法 最終ページのFAXご注文用紙に必要事項をご記入のうえ、
小社までお送り下さい。

お支払い方法 商品同送の振込用紙をご利用ください。
(公費利用の場合は、ご注文の際に必要な書類をお知らせください)

発送方法 ご自宅、ご勤務先へ直送いたします。

送料 割引後本体価格 5,000円未満→450円(税込)
割引後本体価格 5,000円以上→無料

※カタログ掲載書籍以外にも割引となります。
小社図書目録等をご参照のうえ、ぜひこの機会にお買い求め
下さい。

※割引適用は法藏館へ直接御注文いただいた場合に限り
ます。他の書店等でのご購入の場合は割引対象外とな
りますのでご注意ください。

※ご注文多数により、商品の発送が遅れる可能性がござ
います。何卒ご了承くださいませよう、よろしくお願
い申し上げます。(お急ぎの際は、ご注文用紙にその旨
お示しいただくか、販促部までお知らせください。)

ご注文は

FAX:075-371-0458 まで!

お問い合わせ先

法藏館 販促部

〒600-8153

京都市下京区正面通烏丸東入

Tel: 075-343-0458 / Fax: 075-371-0458

HomePage: <http://www.hozokan.co.jp>



新装版 近代日本の親鸞 その思想史

福島和人著・四六判・296頁・本体2,200円＋税
ISBN:978-4-8318-6559-5

近代に澎湃とわき起こった親鸞ブーム。当時の歴史書や文学作品など多彩な研究に着目し、近代日本人の抱いていた親鸞像を描く。



行基と歩く歴史の道

泉森 皎著・四六判・297頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7720-8

奈良時代、近畿圏を中心に数々の社会事業を行った行基。近畿人も知らない関連社寺・遺跡・古道を、近畿を代表する考古学者が案内する。



ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第17号 明治時代の東大寺 近代化がもたらした光と影

GBS実行委員会号編・A4判・140頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-0717-5

時代が明治となって150年。1000年以上、奈良や東大寺が育んできた価値観を一変させた宗教の近代化を多角的にとらえた待望の一冊。



顔真卿伝

時事はただ天のみぞ知る

2刷

吉川忠夫著・四六判・203頁・本体2,300円＋税
ISBN:978-4-8318-7723-9

書聖・王羲之と並んで書道史上に名を留める顔真卿。その波乱の生涯を、中国文学・哲学・史学に通じた著者が描く本格評伝！



東大寺叢書 1

東大寺要録 一

東大寺史研究所編・A4判・400頁・本体30,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5201-4

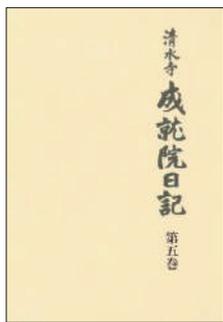
東大寺蔵の経巻・典籍などのフルカラー影印版シリーズ刊行開始！第一期は『東大寺要録』の巻第一・第二とその醍醐寺本、紙背文書を収録！



狩野君山の阿藤伯海あて 尺牘集

狩野直禎監修・杉村邦彦、寺尾敏江編・A5判・382頁
本体7,500円＋税・ISBN:978-4-8318-7721-5

中国学を牽引した君山狩野直喜が岡山の漢詩人阿藤伯海にあてた175通の未公開書簡を、直孫狩野直禎氏の注を付して翻刻紹介。



清水寺 成就院日記 第五巻

清水寺史編纂委員会編・A5判・416頁・本体9,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5155-0

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記。第五巻は延享四年七月～寛延元年九月と『慈心院日記』を収録。

【既刊】 第一巻 元禄七年～宝永二年 第二巻 宝永三年～享保五年
第三巻 享保八年～元文五年 第四巻 元文六年～延享四年



明恵と龍になった女

谷口義介著・四六判・192頁・本体1,500円＋税
ISBN:978-4-8318-5649-4

鎌倉時代の名僧、明恵は女神像・善妙神を作った。その善妙神のルーツを求め韓国・中国を訪ね、善妙化龍説話の背景を探る。



鎌倉新仏教論と叡尊教団

松尾剛次著・A5判・552頁・本体12,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6066-8

鎌倉新仏教教団としての叡尊教団の位置づけを行い、畿内・北陸・関東・中国・四国地方への展開を解明した長年に亘る研究の成果。関東祈祷所、鎌倉極楽寺流の成立に関する論考、光明真言過去帳の翻刻を併録。



王漁洋 橋本循著作集 第三巻

橋本 循著・A5判・528頁・本体5,000円＋税
ISBN:978-4-8318-3733-2

中国清代初期に活躍した詩人である王漁洋の作品に詳細な訳注を付し、現代において最も多くの漁洋詩を味わうことができる一冊。

【既刊】 第一巻 中国文學思想管見 第二巻 詩經國風
第四巻 楚辭・雜纂



相国寺史 第一巻 史料編中世一

相国寺史編纂委員会編・原田正俊、伊藤真昭監修
A5判・950頁・本体9,000円＋税・ISBN:978-4-8318-5251-9

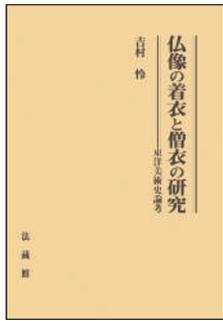
室町期の政治・文化に多大な影響力を誇った相国寺の歴史を通観！第一巻は、建治元年(1275)～文正元年(1466)までの関係史料を収録。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書7 蔵俊撰『仏性論文集』の研究

楠 淳澄、船田淳一編・A5判・423頁・本体15,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6375-1

平安末期の唯識学匠・菩提院蔵俊の新発見の著作『仏性論文集』全編に翻刻・訓読・註記および詳細な解説を施し、その全貌を論じる。



仏像の着衣と僧衣の研究 東洋美術史論考

吉村 怜著・B5判・390頁・本体18,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6238-7

徹底した作品観察と律蔵文献をはじめとする膨大な史料を駆使し、古代の仏像彫刻が纏っている衣の呼称や実態について明らかにする。



新装版 真言密教の基本 教理と行証

三井英光著・四六判・246頁・本体2,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6566-3

本書は嘗て高野山の寺報誌に連載した内容に、加筆修正して刊行された。「神秘体験の宗教」という真言密教について、教理と行証に分けて具体的に解説した類書のない1冊。

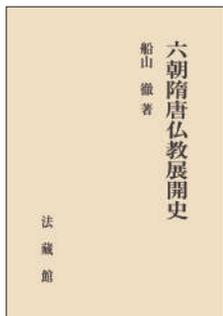


日本仏教史研究叢書

近世仏教の教説と教化

芹口真結子著・四六判・296頁・本体3,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6044-6

近世東本願寺教団の資料をもとに、江戸時代の教学論争の展開と、教説の流通の様相を検討して、近世宗教が持つ特質を解明する。



六朝隋唐仏教展開史

船山 徹著・A5判・556頁・本体8,000円＋税
ISBN:978-4-8318-7724-6

中国仏教の基盤が整備された六朝隋唐期の仏教史をインド仏教との関わりから捉え、中国仏教の新展開とは何であったかを明らかにする。



親鸞改名の研究

籠 弘信著・A5判・530頁・本体13,000円＋税
ISBN:978-4-8318-8769-6

親鸞が33歳のときに釈空から改名した名は「善信」だったのか？ 膨大な史料を駆使し、それが「親鸞」であったこと解明する、定説を覆す注目の書。



「悪」と統治の日本近代 道徳・宗教・監獄教誨

繁田真爾著・A5判・360頁・本体5,000円＋税
ISBN:978-4-8318-5558-9

近代日本の多様な「悪」の姿とそれへの対応を読み、フーコーの統治論に示唆を得た「自己の統治」の視座から近代日本と「悪」の葛藤を描く。



梵文『維摩経』翻訳語彙典

植木雅俊著・B5判・1291頁・本体28,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-7023-0

サンスクリット原典の単語すべてを文法的に分析、現代語訳と訓読、綿密な注釈を施す。名著『梵漢対照・現代語訳 維摩経』の完全版。



空海思想とその成りたち

岡村圭真著作集 第一巻

岡村圭真著・A5判・389頁・本体4,800円＋税
ISBN: 978-4-8318-5690-6

弘法大師空海の計り知れぬ思想の解明へ、数十年に亘る論考を初集成。最近の研究動向を踏まえ密教思想を現代にどう生かすかを論じる。



慈雲尊者 その生涯と思想

岡村圭真著作集 第二巻

岡村圭真著・A5判・346頁・本体4,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-5691-3

ひたすらに正法の護持をめざし、「徹底した復古主義者」とされる慈雲尊者。その足跡を辿り近世を代表する仏教者の思想と魅力に迫る。



雅楽のコスモロジー

日本宗教式楽の精神史

小野真龍著・四六判・256頁・本体2,200円＋税
ISBN: 978-4-8318-6256-3

神仏や王権と密接に関わりながら、日本の宗教世界に影響を与えてきた雅楽。古代から近代までのその精神史を外観する稀有な成果！



改定版 インドネシアの宗教美術

鑄造像・法具の世界

伊藤奈保子著・B5判・330頁・本体14,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-6378-2

イスラム化以前のインドネシアに存在した仏教とヒンドゥー教の実態を、遺存する鑄造像・法具類をその様式・形式から分析・検討することにより解明した、総資料数1600点余の基礎研究の成果。



龍谷叢書50

唐・南山道宣著作序文訳註

大内文雄編訳・A5判・420頁・本体7,500円＋税
ISBN: 978-4-8318-7727-7

21篇の著作に道宣自らが著した序文に、釈文・訓読・訳註を付し、律師・仏教史家など多様な顔を持つ道宣の全体像を俯瞰する。



【法蔵館文庫】

増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

斎藤英喜著・文庫判・518頁・本体1,500円＋税
ISBN: 978-4-8318-2601-5

高知の民間信仰「いざなぎ流」。祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明し、陰陽道、民俗信仰研究の現在をアップデートする。



【法蔵館文庫】

老年の豊かさについて

キケロ著・八木誠一、八木綾子訳・文庫判・208頁
本体800円＋税・ISBN: 978-4-8318-2603-9

年を取ることに對する悲觀的通念を吹き飛ばし、老年の幸福を実例をあげて論証する、2000年読みつがれてきた老年のための幸福論。



【法蔵館文庫】

仏性とは何か

高崎直道著・下田正弘解説・文庫判・320頁
本体1,200円＋税・ISBN: 978-4-8318-2602-2

一切衆生とは、仏性とは何か。はたして全ての人に「ほとけ」になれる本性が具わっているのか。仏教を本当に知るための最重要論考。



龍谷大学アジア仏教文化研究センター
文化講演会シリーズ ③

修二会 お水取りと花会式 聖地に受け継がれし伝灯の法会

楠 淳證編・狭川普文、加藤朝胤著・四六判・118頁
本体1,300円＋税・ISBN: 978-4-8318-6432-1

お水取りと花会式として奈良で親しまれる修二会の世界を東大寺の狭川管長、薬師寺の加藤管主、仏教学者の楠氏が易しく解き明かす。



東大寺叢書 2

東大寺要録 二

東大寺史研究所編・A4判・392頁・本体30,000円＋税
ISBN: 978-4-8318-5202-1

東大寺研究の最重要史料をフルカラー影印版にて提供するシリーズ第二巻。本巻は、東大寺本要録の巻第三～巻第六までを収録。



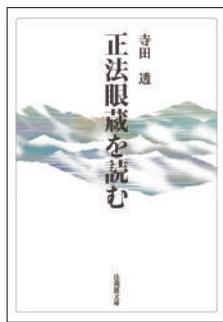
【法蔵館文庫】

アマテラスの変貌 中世神仏交渉史の視座

佐藤弘夫著・文庫判・320頁・本体1,200円＋税
ISBN: 978-4-8318-2604-6

中世人は「あの世の仏」と「この世の神仏」という世界観に生きていた。従来の神仏習合論や本地垂迹論、顕密体制論の見直しを迫り、新たな宗教コスモロジー論を構築した名著。

【法蔵館文庫】



正法眼蔵を読む

寺田 透著・林 好雄解説・文庫判・592頁
本体1,800円＋税・ISBN:978-4-8318-2605-3

道元の『正法眼蔵』はどう読めるのか。多くの道元論を世に問うた著者による「語る言葉（パロール）」と「書く言葉（エクリチュール）」による「講読体書き下ろし」の読解書。



自然に学ぶ

白川英樹著・四六判・146頁・本体1,200円＋税
ISBN:978-4-8318-5714-9

豊かな創造性、旺盛な好奇心、本質に迫る洞察力などは生活に密着した学びのなかで育まれる——2000年ノーベル化学賞受賞者の著者が折々の想いを綴った随筆集。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13

日本仏教と論義

楠 淳澄、野呂 靖、亀山隆彦編・A5判・628頁
本体7,500円＋税・ISBN:978-4-8318-6380-5

仏教学・歴史学・文学など多様な分野の最先端研究が、日本仏教で展開した教理問答の構想と思想的・文化的意義を浮き彫りにする。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書15

日本仏教の展開とその造形

道元徹心編・A5判・399頁・本体8,000円＋税
ISBN:978-4-8318-6383-6

仏教は、教理と造形が相互に作用して発展してきた。国内外の研究者が中世を中心に思想と美術の両面から日本仏教の本質に迫る。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書16

最古の世界地図を読む 『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海

村岡 倫編・A5判・298頁・本体3,200円＋税
ISBN:978-4-8318-6385-0

最新の技術でよみがえった現存最古の世界地図、『混一疆理歴代国都之図』を初めて詳細に分析し、当時の人びとの世界認識を読みとる！



龍谷大学アジア仏教文化研究センター
文化講演会シリーズ ④

比叡山の仏教と植生

道元徹心編・四六判・214頁・本体1,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6433-8

比叡山は「日本仏教の母山」と呼ばれ、伝教大師の教えとともに類い希なる植生環境が息づいている。その思想・歴史・現在を報告する。



【法蔵館文庫】

地獄

石田瑞麿著・末木文美士解説・文庫判・318頁
本体1,200円＋税・ISBN:978-4-8318-2606-0

古代インドで発祥し、中国を経て、日本へとやってきた「地獄」の歴史と、地獄と共に展開した浄土信仰、「極楽」の歴史を、詳細に論じた恰好の地獄概説書。



【法蔵館文庫】

王法と仏法 中世史の構図

黒田俊雄著・平 雅行解説・四六判・322頁
本体1,200円＋税・ISBN:978-4-8318-2607-7

強靱な論理力と斬新な学説で中世史の構図を一変させ、「武士中心史観」にもとづく中世理解に鋭く修正を迫った黒田史学。その精髓を示す論考を取めた不朽の名著。



佛教大学研究叢書 38

唐中期浄土教における善導流の諸相

『念仏三昧宝王論』と『念仏鏡』を中心に

加藤弘孝著・A5判・392頁・本体8,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6135-1

中国仏教史変革の時代に当たる唐中期に焦点を当て、とりわけ善導流の浄土教家の思想的特徴を中心に考察することで、唐中期仏教全体の様相を浮き彫りにしていく。



龍谷大学仏教文化研究叢書 39

源信撰『阿弥陀経略記』の訳注研究

村上明也、吉田慈順編・A5判・346頁・本体7,500円＋税
ISBN:978-4-8318-6384-3

『往生要集』の著者・恵心僧都源信。その最晩年、彼の思想はどのように昇華したのか。現存する写本や刊本を完全網羅し、解題・訓読・補注・諸本校勘・原文・影印から『阿弥陀経略記』を詳解する。浄土教研究待望の一書。



お迎えの信仰 往生伝を読む

梯 信暁著・四六判・242頁・本体1,600円＋税
ISBN:978-4-8318-6068-2

命終のとき、阿弥陀仏がお迎えに来なければ極楽に往生できない？ 平安時代に著された「往生伝」を現代語訳し、貴族社会に芽生え、やがて社会の全体に広がった「お迎え」の信仰の光と闇に迫る。



【法蔵館文庫】

折口信夫の戦後天皇論

中村生雄著・三浦佑之解説・文庫判・354頁
本体1,300円＋税・ISBN:978-4-8318-2608-4

戦後、「人間」となった天皇に、折口はいかなる可能性を見出そうとしたのか。折口学の深淵を解説し、その理解に新地平を切り開いた力作。

